

当初の提案模型(茜設計製作)



提案当時の池袋駅周辺



日本都市計画学会による推進計画模型

提案の経過と反響

本プロジェクトは、昭和 59 年 1 月 (社) 東京都建築士事務所協会豊島支部都市計画委員会 (委員長 宇田川達生) が、法人設立 35 周年と、豊島区政 50 周年記念事業として、豊島区の後援を得て「21 世紀の池袋副都心づくりを考える」と題して提案したものである。

提案後、各方面から大反響があり、多くの商店会、大手百貨店、各種団体等から請われて説明会を続けるうちに、地域社会での大きな街づくり運動へと発展した。1 年後の昭和 60 年 2 月、この提案の実現化を目指す地域組織が結成された。

わが国初の推進母体づくり

推進母体自らが基金を募り、これをもとに (社) 日本都市計画学会に推進計画策定の調査を委託し、学会と地元が一体となって、計画の実現化に取り組むこととなった。

これらは、全てにわたってわが国初の試みであり、各方面から高い評価を受けている。

建設省に創設された「複合空間基盤整備事業」の、国庫補助事業第 1 号として採択され、(財)日本建築センターによって調査報告された。

完成の暁には、街の連続性、回遊性、安全を高めた一体的な街づくりとなるもので、地域社会、行政当局、マスコミ関係者等からも熱いまなざしで見守られているプロジェクトである。

リラックス未来都市池袋

池袋らしさは、山の手でも下町でもない、都心の補完物でもない、人間くさい多様性にある。これらを発展的に統合する街づくりのコンセプトは、肩肘張らない「リラックス未来都市」を基本としたい。

街づくりのしかけのテーマ

● イメージアップ作戦

池袋は誤解されている。まずはイメージアップが必要だ。そのためには、埋もれた文化的ストックの再生や、新しい分化の導入に取り組む。また、マスタープランを定め、街の骨格を確立すると共に、施設づくりには先進的な企画や、質の高いデザインとする等、ソフト・ハードの両面で大胆なグレードアップを進める。

● 歩いて楽しい街のデザイン

池袋の欠点は、東と西に分断され、街の回遊性が保証されていない点にある。快適な歩行空間の創出は、街づくりの最大のテーマといってよい。東西の軸となる道、大きな施設や小さな施設を繋ぐ道、ゆっくりと散策できる道等、わかりやすく楽しい道空間を演出する入念な街のデザインが必要だ。

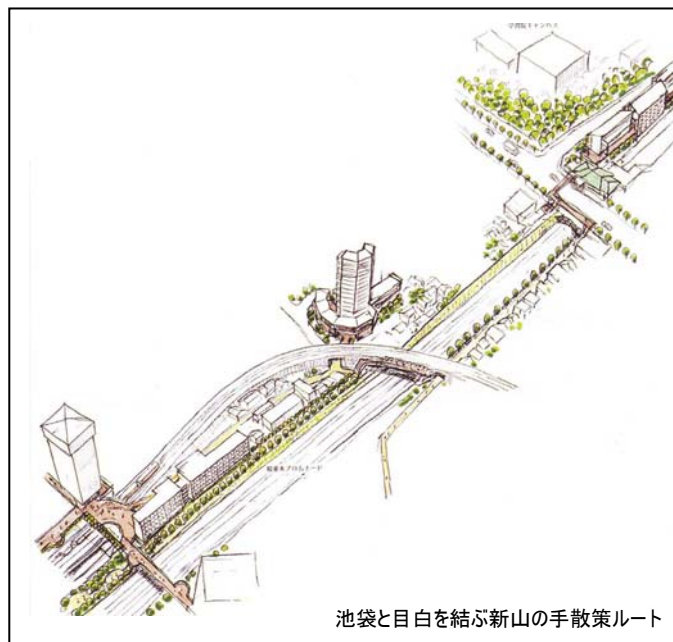
● 街がエンターテイメント

娯楽施設や文化施設はかなり増えてきている。芸文会館も新しい文化拠点になるだろう。しかしこれからの娯楽や文化は、施設の中にとどまらず、街の中にはみ出してくる。街全体がエンターテイメントになる時代だ。ショッピングや語らいの場にも、クリエイティブで楽しみに満ちた演出が欲しい。

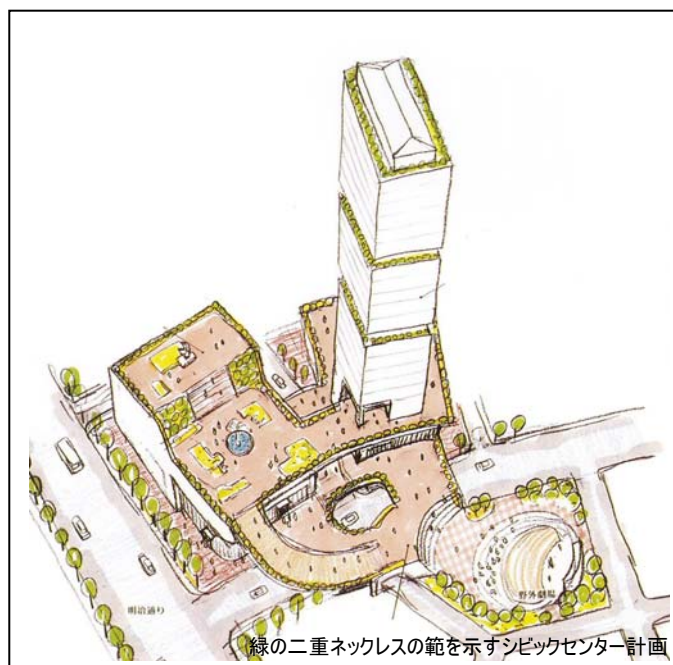
● 出会いを生かすイベントコンベンション

都市では、人が出会い情報が交流して、新しいビジネスや文化が生まれる。これからは、台を作るイベントや、人が集まり易くなる機能的なコンベンション施設が重要な都市機能になる。サンシャイン60は、その先進的な役割を担ってきたが、これを孤立させてはならない。更なる豊富化は、池袋の未来づくりのポイントとなる。

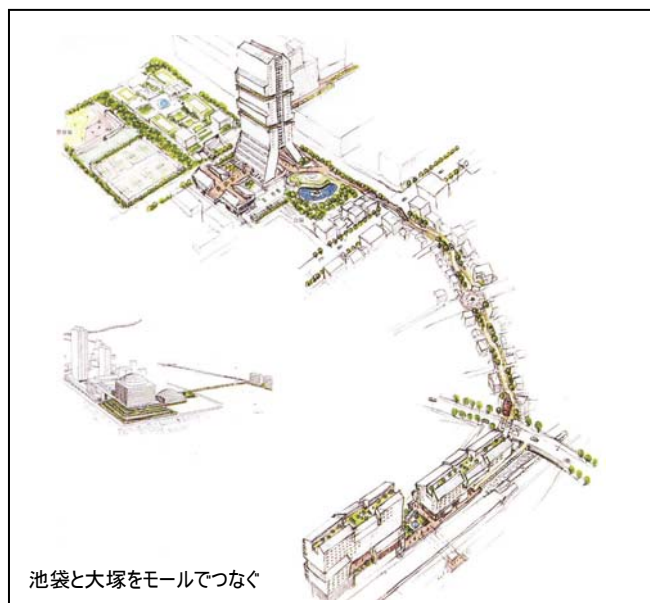
(川瀬光一)



池袋と目白を結ぶ新山の手散策ルート



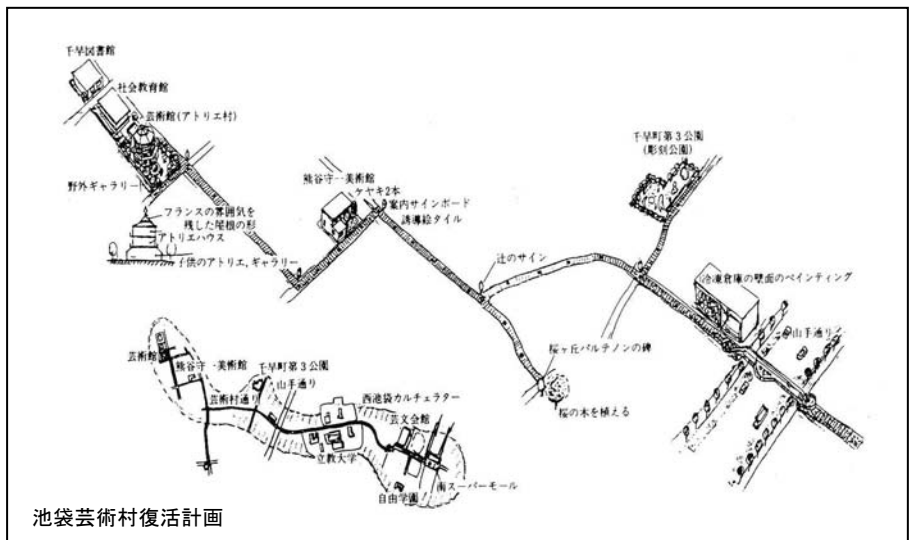
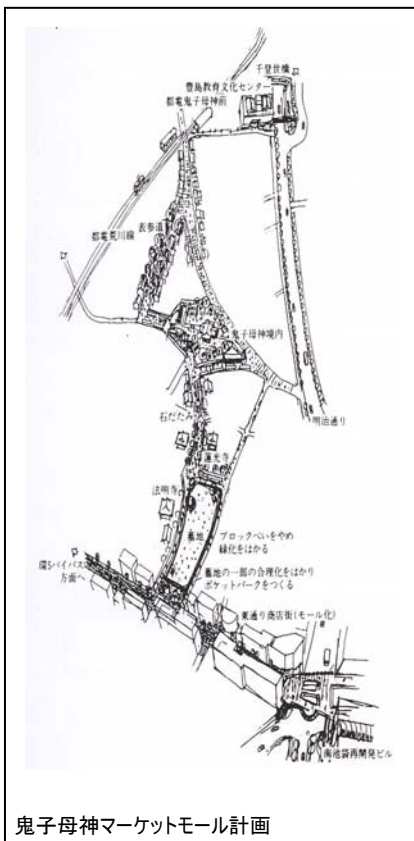
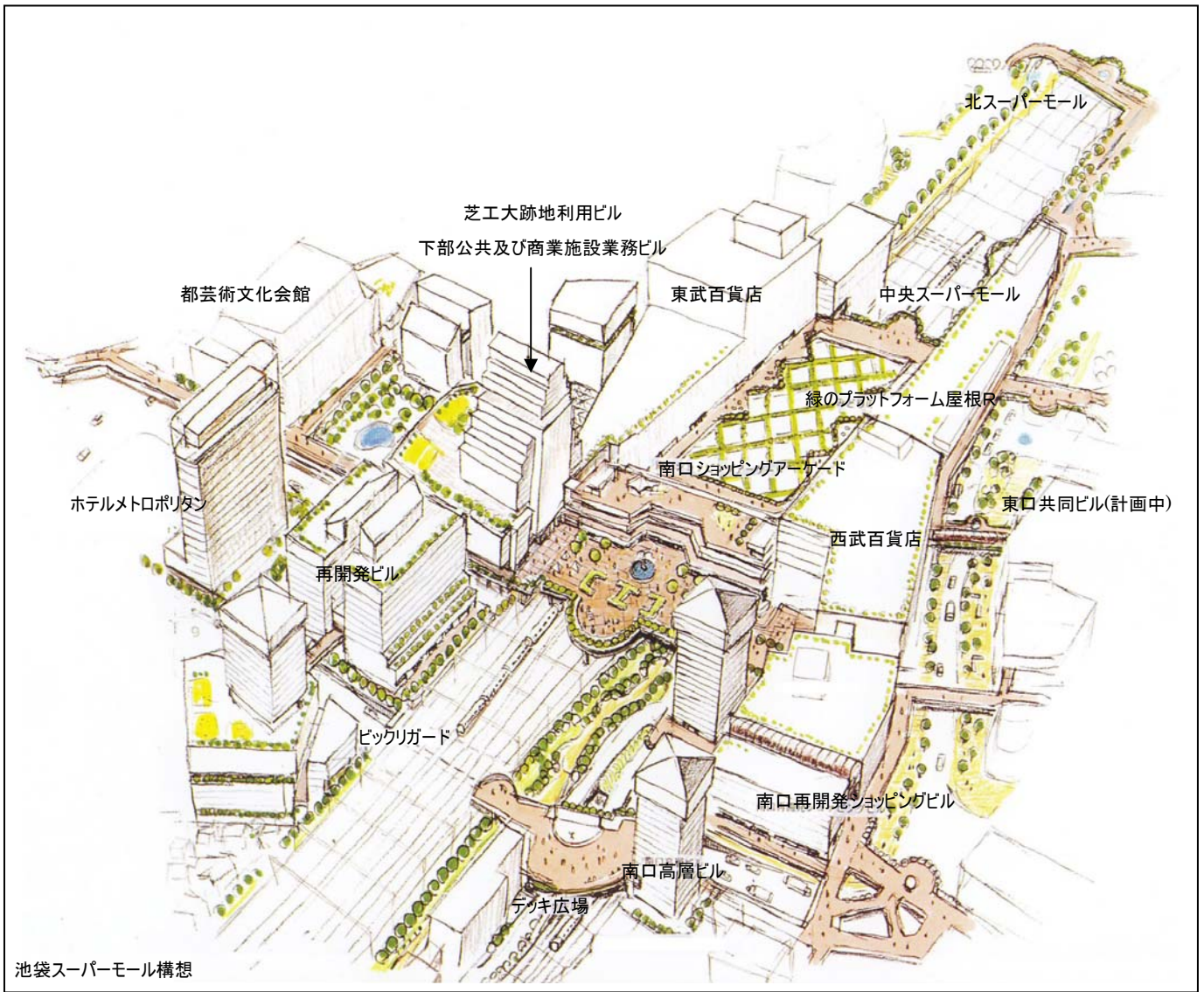
緑の二重ネックレスの範を示すインビックセンター計画



池袋と大塚をモールでつなぐ



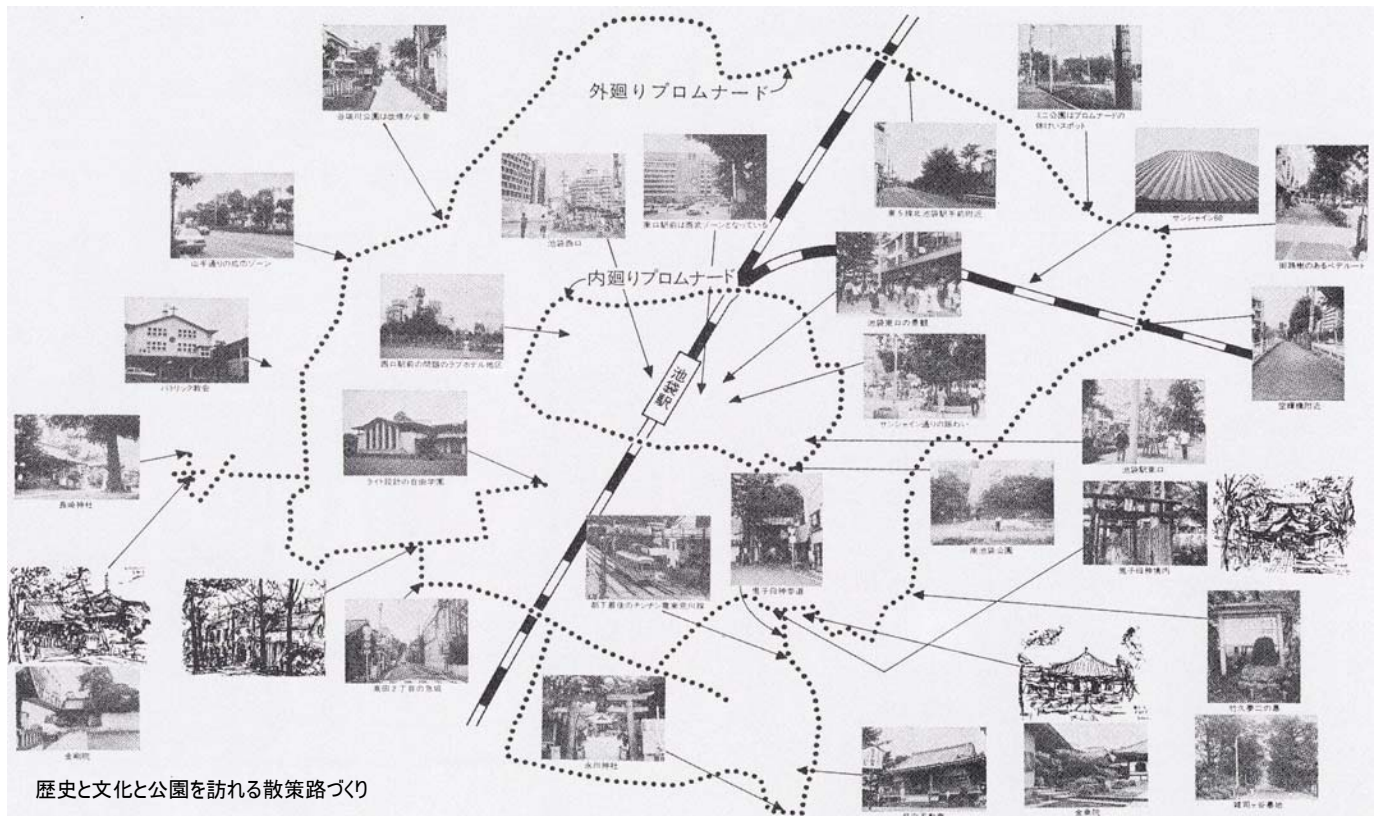
空中イベント広場計画



池袋ルネッサンス構想

本プロジェクトは、日本都市計画学会によって「池袋ルネッサンス構想」と改名され、「未来の21の扉」が提案された。21世紀に向けての「21のプロジェクト」の内から、主要なものを掲載する。

(構想のイメージスケッチ：猪狩達夫氏による)



歴史と文化と公園を訪れる散策路づくり

21世紀の池袋副都心づくり委員会

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 委員長：日笠 端 (東京理科大学教授) | 協力委員：小林 定良 (豊島区都市計画課長) |
| 委員：渡部与四郎 (法政大学教授) | ：龍口 昭人 (豊島区市街地整備課長) |
| ：大庭 常良 (工学院大学教授) | 専門委員：山田 学 (東京大学助教授) |
| ：川添 登 (文明評論家) | ：深海 隆恒 (東京工業大学助教授) |
| ：菊竹 清訓 (建築家) | ：日端 康雄 (筑波大学助教授) |
| ：伊藤 滋 (東京大学教授) | ：大和 稔 (住宅都市整備公団都市再開発課長) |
| ：牛窪 浩 (立教大学教授) | ：司波 寛 (都市総合計画所長) |
| ：鈴木信太郎 (早稲田大学教授) | ：高橋志保彦 (高橋建築事務所長) |
| ：戸村 幸市 (早稲田大学教授) | ：佐川 嘉久 (タカハ都市計画研究所) |
| ：村上 處直 (防災都市計画研究所長) | ：宇田川達生 (茜設計所長) |
| ：土井 幸平 (都市計画設計研究所長) | ：井上 赫郎 (首都圏総合研究所) |
| ：大塚 光正 (大塚商会顧問) | ：平瀬 宣彦 (平瀬+計画設計研究所) |
| ：関田 一郎 (東京都建築士事務所協会専務理事) | ：国久荘太郎 (計量研究所研究部長) |
| 協力委員：梅野捷一郎 (建設省住宅局市街地建築課長) | 幹事長：川瀬 光一 (都市計画総合研究所長) |
| ：宮地 謙一 (建設省都市再開発課対策官) | 作業部会長：猪狩 達夫 (イカリ設計所長) |
| ：野村 信之 (国土庁大都市圏整備局室長) | 幹事：大間 武 (住環境設計所長) |
| ：大野 栄一 (中小企業庁小売商業課長) | 以下 地元協議会協力幹事 12 名 |
| ：藤井 隆文 (国鉄東京北局開発部長) | 池袋副都心協議会：斎藤 助治 (西口側代表) |
| ：青柳 幸人 (住宅都市整備公団都市再開発部長) | ：福田善治郎 (東口側代表) |
| ：小川 玄 (東京都都市計画局再開発課長) | |